

令和2年度日本小児外科学会
第7回定例理事会議事録

日 時：令和3年4月27日（火） 10：00～14：00

会 場：各施設から Web 参加

出席者：田尻達郎（理事長）、黒田達夫（理事・会長）、越永従道（理事・次期会長）、
白井規朗、金森 豊、野田卓男、浮山越史、大植孝治、田中 潔（以上理事）、窪田正幸、
八木 實（以上監事）、藤野明浩（庶務委員長）、浦尾正彦（財務会計委員長）、照井慶太（庶
務副委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、山田洋平（庶務委員）、家入里志（施設認
定委員会委員長）、菱木知郎（専門医認定委員会委員長）、古村 眞（専門医制度庶務委員
会委員長）、仁田尾慶太（事務局）

欠席者：増本幸二（副理事長）

議事案件：

議 事：

1. 第7回定例理事会の議事録署名人は、野田卓男理事、田中 潔理事とした。
2. 令和2年度第6回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第58回学術集会について（黒田会長）

黒田会長より、学術集会開催にあたって挨拶が述べられた。

会 期：令和3年4月28日（水）～30日（金）

会 場：パシフィコ横浜ノース

テーマ：自然の臣たるなかれ

2) 第59回学術集会について（越永次期会長）

越永次期会長より、ポスターやプログラム案等が報告され、承認された。

会 期：令和4年5月19日（木）～21日（土）

会 場：虎ノ門ヒルズフォーラム

テーマ：創業と守成

3) 第37回秋季シンポジウムについて（金森秋季シンポジウム会長）

金森秋季シンポジウム会長より、進捗状況が報告され、参加費はPSJM+秋季シンポジウムの参加費のみの設定とすることが承認された。

会 期：令和3年10月30日（土）

会 場：ベルサール神田

テーマ：再生医療と小児外科

4) 第38回秋季シンポジウムについて（野田次期秋季シンポジウム会長）

野田次期秋季シンポジウム会長より、進捗状況が報告され、承認された。

会 期：令和4年10月29日（土）

会 場：岡山コンベンションセンター

テーマ：小児外科治療後のサルベージ

- 5) 第39回秋季シンポジウムについて（臼井次々期秋季シンポジウム会長）
臼井次々期秋季シンポジウム会長より、準備状況が報告され、了承された。
テーマ：小児外科領域における感染症対策
- 6) 評議員会・総会進行手順について（藤野庶務委員長）
藤野庶務委員長より、評議員会・総会進行手順について説明された。
- 7) 次期理事、次期監事、次々期会長選任の件（藤野庶務委員長）
藤野庶務委員長より、立候補状況につき報告があり了承された。
- 8) 各種委員会審議事項
 - (1) 庶務委員会（藤野委員長）
藤野委員長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。
 - (2) 財務会計委員会（浦尾委員長）
浦尾委員長より資料に基づき、学会支援機構との業務委託契約書（特定非営利活動法人と一般社団法人）について説明があり、承認された。また、令和2年度収支決算報告、令和3年度収支予算案につき説明があり、質疑応答の後、了承された。
 - (3) 専門医制度委員会（家入里志施設認定委員会委員長、菱木知郎専門医認定委員会委員長）
家入里志施設認定委員会委員長、菱木知郎専門医認定委員会委員長より資料に基づき、COVID-19に伴う対応について学会HPに掲載したと報告された。
 - (4) 機関誌委員会（大植担当理事）
大植担当理事より、以下の点について報告・提案があり、承認された。
 - ・いままで学術集会と秋季シンポジウムの記録原稿についての超過ページが請求されていなかったことが判明したと報告があり、未請求だったものは特に請求せずに、今後は超過ページを起こさないよう機関誌委員会でチェックする体制を設けることとした。
 - ・JSPS 学術集会最優秀論文賞（JSPS prize）の本年度（2021年、第58回学術集会）は以下の2論文の受賞が推薦され、承認された。また、今回一位は基礎部門の論文のため、Open Access の権利は杉田先生の論文とすることにした。

臨床部門 Kazuki Yokota et al: Efficacy of urinary N1, N12-diacetylspermine as a biomarker for pediatric cancer: a case control study.

Department of Pediatric Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine

基礎部門 Koshiro Sugita et al: The protective effects of hepatocyte growth factor on the intestinal mucosal atrophy induced by total parenteral nutrition in a rat model.

Department of Pediatric Surgery, Research Field in Medical and Health Sciences, Medical and Dental Area, Research and Education Assembly, Kagoshima University

(5) 国際・広報委員会 (田尻担当理事)

田尻担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(6) 保険診療委員会 (浮山担当理事)

浮山担当理事より資料に基づき、保険収載の要望として総胆管拡張症手術（ロボット支援下）を上げていると途中経過が報告された。

(7) 教育委員会 (大植担当理事)

大植担当理事より資料に基づき、総合調整委員会でも議論している学生、若手医師のリクルート・育成するための具体的方策案について検討を行ったと報告された。

(8) 悪性腫瘍委員会 (大植担当理事)

大植担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(9) 学術・先進医療検討委員会 (臼井担当理事)

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案があり、承認された。

・癒着防止剤の使用実態に関する調査

「癒着防止剤の使用実態に関する調査」について審議を行い、委員会では否定的な意見が集まったため、学会としては推奨できないとして回答することとした。

・科研費に関する認定施設・教育関連施設に対する採択状況アンケート

「科研費に関する認定施設・教育関連施設に対する採択状況アンケート」について、施設への依頼文および回答用紙、往復ハガキ見本が提示され、5月のゴールデンウィーク明け頃を目途に意見があれば修正し、各施設にアンケートを取ることにした。

・小児外科領域でのエビデンス：systematic review 論文の紹介

2020年1月1日から12月31日に pediatric surgery 領域での systematic review 論文で、Impact Factor が Pediatric Surgery International, European Journal of Pediatric Surgery 以上の論文を PubMed 検索し、41論文が選定され、学会 HP に掲載した。

(10) 倫理・医療安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

・日本新生児成育医学会から、ロクロニウム臭化物の小児に対する持続投与について意見が求められていると報告があり、関係学会にもヒアリングを実施したが意見がまとまり切れていないため、継続審議とした。

(11) データベース委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、以下の点について報告があり、承認された。

・NCD データを利用した研究申請について

4月15日を締め切りとしていたNCD データを利用した研究申請について、応募が7件（その内1件は期限後に出されたため、審議対象外とした）あったことが報告があり、これから委員会で審議を行う予定である。

(12) 小児救急検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(13) トランジション検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(14) ワークライフバランス検討委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

・「令和3年度 医学生、研修医等をサポートするための会」の開催について

日本医師会に、医学生、研修医等をサポートするための会の補助金申請を行い、20万円の補助が承認されたと報告された。

(15) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(16) 研究倫理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(17) NCD 連絡委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

・アニュアルレポートについて

2017-2018年アニュアルレポートの原稿が完成し、日本小児外科学会雑誌57巻4号(6月)に掲載予定である。2019年アニュアルレポートについては、NCDのデータ解析がほぼ終了したため、近く委員会報告の原稿を作成予定である。

・小児外科専門医の地域ごとの適正数を判断するための基礎データ在り方について

理事長講演のデータとして、解析データの中から代表的な結果を 12 枚のスライドに集約してスライドを作成した。

- ・泌尿器科領域腎盂形成術の NCD 登録について

前回理事会終了後、山高篤行先生、古賀寛之先生の同意を確認させていただいたうえ、NCD-Pediatric 内に三階建ての構築は行わないが、症例登録を希望する施設が各施設の判断によって個別に泌尿器科の NCD でログインして登録することを、広報などを通じて学会として支援する旨を回答した。

- ・毎日新聞からの一時的人工肛門パウチ代に関する回答

毎日新聞からの質問に回答すべく、2018 年の新生児外科症例のうち、直腸肛門奇形が 364 症例あり、「高位鎖肛」、「中間位鎖肛」、「膀胱腸裂」を中心に 184 件の人工肛門造設術が行われていること、鎖肛以外にもいくつかの疾患で一時的人工肛門造設術が行われていること、2017 年と 2018 年のアニュアルレポートより、16 歳未満の小児で一時的人工肛門を有する患児は年間約 500 例発生していることへの回答文を作成した。

(18) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・小児版臓器提供ハンドブックに対する内容確認について

へるす出版から依頼のあった「小児版臓器提供ハンドブックに対する内容確認」について検討した結果、東北大学の和田基先生と、埼玉県立小児医療センターの水田耕一先生にお願いすることとした。

- ・腸回転異常症診療ガイドラインの出版について

田尻理事長、浦尾財務会計委員長と相談して、来年度に予算として 50 万円を計上していただき、小児外科学会認定施設には 1 冊ずつ配布することと、他にもできるだけ購入をお願いしたい（特に認定施設には、教育関連施設に配る分などを）、ということを知り、販売部数を調整したい方向が提案された。本件、金森担当理事の方で東京医学社と調整を継続することとした。

(19) 利益相反委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(20) 日本外科学会理事会（田尻理事長）

田尻理事長より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・外科専門医のインセンティブについて

日本外科学会からのアンケート「外科専門医のインセンティブについて」は本学会も回答した。

- ・学術集会のハイブリッド開催について

学術集会のハイブリッド形式の開催についてのアンケート結果は、若い方にとっては評判がよく、またフェイストゥフェイスも必要じゃないかという回答が出ていた。

(21) 四者協関連(越永前理事長)

越永前理事長より、日本小児保健協会から小児の虐待について四者協に意見が求められていたが、一部の加盟団体側で賛同が得られず、四者協としては見送られたと報告された。

(22) 医薬品・医療機器検討委員会(田尻担当理事)

田尻担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

・一時的人工肛門パウチ代自己負担に関する見解のお願い

毎日新聞社より「一時的人工肛門パウチ代自己負担に関する見解のお願い」が学会宛に届き、委員会で検討した結果の回答案が提示され、記事にした場合は掲載された記事を学会にも送っていただくようにした。

4. 報告事項

1) 理事長報告(田尻理事長)

(1) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレター No.202」を受領した。

(2) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.381」を受領した。

(3) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「医療事故調査・支援センター2020年 年報」を受領した。

(4) 愛知県弁護士会からの寄贈本「画像診断報告書の確認不足に関する調査研究報告書」を受領した。

(5) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「医療事故の再発防止に向けた提言第13号」を受領した。

(6) 日本製薬工業協会からの寄贈本「てきすとぶっく 製薬産業 2020-2021」を受領した。

(7) 日本医学会からの通信文「2020年度日本医学会新規加盟学会について」を受領した。

(8) 日本臨床栄養代謝学会からの通信文「理事長就任のお知らせ」を受領した。

(9) 日本医師会からの通信文「令和3年度医学生、研修医等をサポートするための会の開催について」を受領した。

(10) 日本外科学会からの通信文「日本外科学会定期学術集会の開催日程のお知らせとお願い」を受領した。

(11) 日本医学会からの通信文「「レジストリデータを承認申請等に利用する場合の信頼性担保のための留意点」の訂正について」を受領した。

(12) 日本医学会からの通信文「「使用上の注意」の改訂について」を受領した。

(13) 日本医学会からの通信文「「使用上の注意」の改訂について2」を受領した。

(14) 日本医学会からの通信文「臨床研究法の統一書式について」を受領した。

(15) 日本医学会からの通信文「承認申請等におけるレジストリの活用に関する基本的考え方」について」を受領した。

(16) 日本医学会からの通信文「「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の制定について」を受領した。

(17) 日本医学会からの通信文「「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイドランス」について」を受領した。

(18) 日本医学会からの通信文「「病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方」について」を受領した。

(19) 日本医学会連合からの通信文「COVID-19 ワクチンの普及と開発に関する提言」を受領した。

(20) 日本医学会からの通信文「JMA Journal 投稿募集のお知らせ」を受領した。

(21) 日本医学会からの通信文「MID-NET の利活用に係る申出等の事務処理手続の取扱いについて」を受領した。

(22) 日本医学会からの通信文「MID-NET の利活用に係る申出等の事務処理手続の取扱いについて 2」を受領した。

(23) 日本医学会からの通信文「アベルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（尿路上皮癌）の作成について」を受領した。

(24) 日本医学会からの通信文「レギュラトリーサイエンス戦略相談に関する実施要項の一部改正について」を受領した。

(25) 日本医学会からの通信文「経腸栄養分野の小口径コネクタ製品に係る旧規格製品の出荷期間の延長について」を受領した。

(26) 日本泌尿器科学会からの通信文「女性登用についての調査アンケート」を受領した。

(27) 日本医学会からの通信文「大腿膝窩動脈におかるパクリタキセルを塗布したバルーン及びステントの添付文書の自主点検について」を受領した。

(28) 日本内視鏡外科学会からの通信文「内視鏡外科ガイドライン 2019 年版の Minds ガイドラインライブラリ掲載について」を受領した。

(29) 日本医学会からの通信文「日本造血細胞移植学会の名称変更につきましてのご意見のお願い」を受領した。

(30) 日本医学会からの通信文「令和 3 年度版死亡診断書(死体検案書)記入マニュアルについて」を受領した。

(31) 日本医学会連合からの通信文「日本学術会議学術フォーラム「コロナ禍を共に生きる」」を受領した。

2) 業務監査報告（窪田監事、八木監事）

窪田監事、八木監事より、理事に対する労いの言葉と、理事会資料の提出期限を厳守するよう要望が出された。

3) 次回定例理事会日程の確認（田尻理事長）

次回理事会は令和3年4月29日（木）18：45～19：45 パシフィコ横浜G213+Webにて開催することが確認された。

理事長

理事

理事